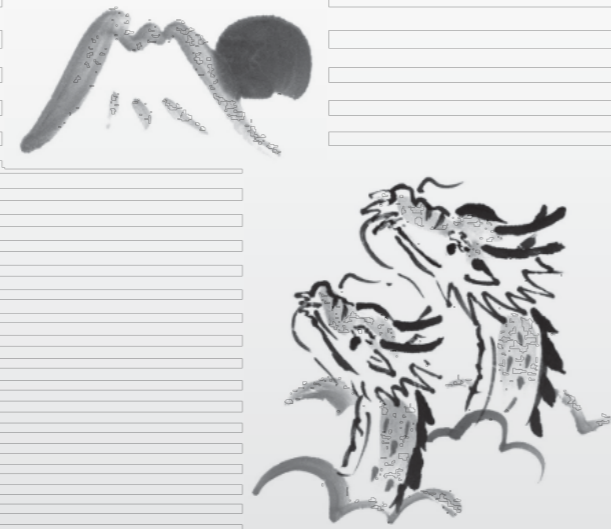




いばらき 農業委員会だより

第184号
令和6年1月発行

謹賀 新年



謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には、令和6年の年明けをご家族お揃いでお健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本市農業委員会の諸活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は国内の夏の平均気温が気象庁の統計開始以降、過去最高を記録し異常気象となりました。本市におきましても記録的な猛暑で農作物の収穫に大きな影響が出ており、米の等級検査で1等米の比率が低下しました。

また、ロシアによるウクライナ侵攻や急激に進む円安、世界的な人口増加の影響により、食料を海外に依存する割合が高い我が国は近い将来深刻な食糧危機に見舞われる可能性が指摘されており、国において食料・農業・農村基本法の見直しを行うなど、食料安全保障に向けた取組の重要性が高まっております。

現在、全国的に農業従事者の高齢化が進んでおり、地域農業の継続が懸念される中、本市におきましても、農地の集約化や農業を担う者の確保・育成をめざし、地域農業のおおむね10年後の農地利用の姿を描いた地域計画の策定に向け取り組んでおります。

地域計画は令和6年度末までに策定する必要があり、地域農業を維持するために誰が地域の農地を利用し、農地をどのようにまとめていくか、農業者の皆様が話し合い、作り上げていく必要があると考えております。

昨年は農業委員会が新体制へと移行し、引き続き重点業務である農地利用の最適化の実現、また地域計画策定に向けそれぞれの地区ごとに農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し取り組んでまいりますので、本年も本市農業委員会の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のごあいさついたします。



茨木市農業委員会

会長 小濱 邦臣

新年のいばらき

第25期 茨木市農業委員会委員、推進委員 担当地区一覽

地域	地区名	担当委員	担当地区 (実行組合単位)	区域名	推進委員
北 部	見山	南野 悟	車作、忍頂寺	第1地区	西ノ坊 嘉治
		大神 平	下音羽、上音羽、銭原、長谷、清阪		
	清溪	大西 清一	佐保免山、佐保松谷、佐保馬場、泉原東谷、泉原中垣内、泉原西垣内、泉原下南、千提寺	第2地区	中井 昇
丘 陵	安威	中西 壽男	大岩、安元、生保、桑原	第3地区	中野 勝之
		中村 正治	十日市、山西		
	福井	吉田 公俊	安威北部、安威中央、安威南部	第4地区	小川 範久
	豊川	久保 睦子	福井上、福井中、福井下、中河原		
中 心	三島	小濱 邦臣	岩阪、畑、上川原、鳥羽、清水、東村、宿川原東、宿川原西、道祖本東、上平、山ノ下、砂ヶ原	第5地区	川端 稔
		西林 肇	西河原、耳原、太田、三ヶ字		
	春日	谷山 正昭	茨木(一部)、田中、総持寺、総持寺二丁目、中総持寺町、橋の内、戸伏第二、鮎川、庄	第6地区	森 善隆
南 部	玉櫛	早川 訓男	茨木(一部)、下井、郡山、郡、上野、五日市、畑田、上穂積、中穂積、下穂積、奈良、倍賀		
南 部	玉島	矢頭 周	内瀬、水尾、真砂、沢良宜東、沢良宜西、沢良宜浜一丁目、沢良宜浜三丁目、宇野辺、丑寅、蔵垣内	第7地区	松本 好博
	全域	池田 洋一	島、野々宮、玉島、平田、目垣、二階堂、五十鈴		
全 域		入交 享子	全区		

農業委員会構成

会長 小濱 邦臣
副会長 中村 正治

運営協議会

会長 小濱 邦臣
副会長 中村 正治
委員 入交 享子
委員 南野 悟
委員 吉田 公俊
委員 谷山 正昭
委員 中井 昇
委員 川端 稔

編集委員会

会長 小濱 邦臣
副会長 中村 正治
委員 久保 睦子
委員 早川 訓男
委員 西ノ坊 嘉治

都市農政対策委員会

委員長 谷山 正昭
副委員長 矢頭 周
委員 早川 訓男
委員 池田 洋一
委員 西林 肇
委員 森 善隆
委員 松本 好博

ふるさと農業再生委員会

委員長 大西 清一
副委員長 吉田 公俊
委員 大神 平
委員 中西 壽男
委員 久保 睦子
委員 南野 悟
委員 西ノ坊 嘉治
委員 中井 昇
委員 中野 勝之
委員 小川 範久
委員 川端 稔

※敬称略
(令和5年7月20日現在)



講師 藤井 聡氏

令和5年度大阪府農業委員会大会が、10月25日、大阪国際交流センターで開催され、茨木市農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員を含む多くの府内農業委員会委員等が参加された。

大阪府農業委員会大会 「農業者の意向把握と 地域の話し合い活動を推進」

大会では、大阪府農業会議の中谷会長が開会の挨拶を行い、第2部の講演会で京都大学大学院工学研究科教授の藤井 聡氏が「食料安全保障と農業委員会への期待」をテーマに講演された。

日本の農業の国際競争力や食料自給率が低いのは、農家に原因があるのではなく、国の補助金が少ない上、関税が安いからである。
日本の農業は稲作を大事にして、農家の皆さんがしっかりと所得を稼ぎ、幸せな暮らしができ、若者も希望を持ってどんどん入ってくる農業を目指さないといけない。

外国では食料安全保障に関し意識が高く、自国の農家に対する補助はより手厚い。

一方、日本は自国の農家に対する補助金は少ない。これまで日本は比較的高い関税で国内の農業を守ろうとしていたのだけれど、TPP(環太平洋パートナーシップ)やEPA(経済連携協定)等によって関税も

農地の利用意向等に関するアンケート調査結果について

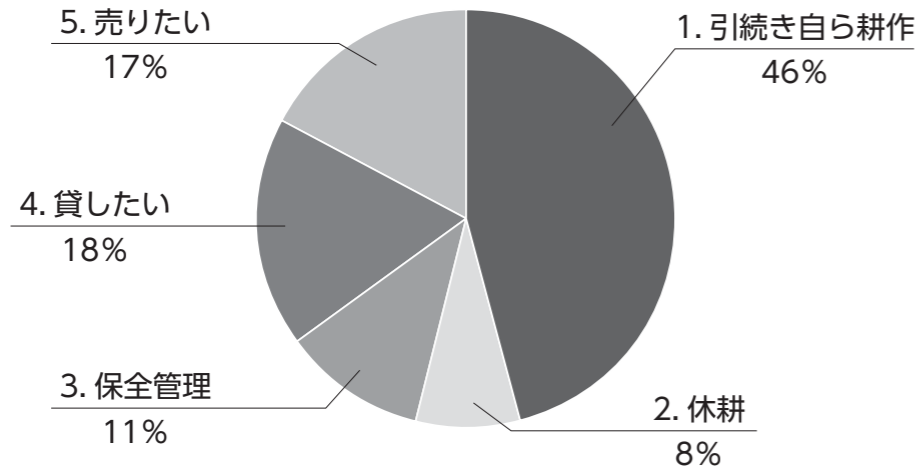
本市農業委員会では、昨年9月に市内の市街化調整区域内に農地を所有する世帯を対象に、「農地の利用意向等に関するアンケート調査」を実施しました。

対象世帯数は1804世帯、回収数は1120世帯、回収率は62.1%でした。

なお、アンケート結果の提供にご同意いただいた内容については、今後地域での話し合いなど地域計画策定に向けた取組に活用してまいります。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。

今後の利用意向



どんどん下げられている。現在、保護主義が世界の潮流になっている。日本は食料に関しても、エネルギーに関しても安全保障とい

う考えが希薄である。日本の食料自給率を高めるには関税を高くするか、補助金を多くするか、それが大事であると述べられた。

第47回 茨木市農業祭 新鮮野菜求め賑わう!

第47回農業祭が、令和5年11月18日(土)、19日(日)の2日間、「都市と農村のふれあいを求めて」をテーマに、中央公園グラウンドで開催されました。

会場には、農業者の皆さんが丹精込めて育てた新鮮で安全安心な農産物を買求める家族連れなど約4万人が訪れました。

また、農林産物品評会には、野菜、果実、花き等606点の出品があり、特賞18点、優秀賞10点、努力賞5点が入賞しました。なお、特賞に入賞されました方々は、下表のとおりです。



農林産物品評会特賞入賞者一覧 (敬称略)

茨木市長賞	塩田 寛
茨木市議会議長賞	行田 修
大阪府知事賞	田所 壽一
茨木市農業委員会会長賞	岸本 俊和
茨木市農業協同組合会長賞	安田 義美
茨木市農業振興団体連合会会長賞	大上 真一
茨木市農協実行組合長連絡協議会会長賞	角野 力
茨木市林業推進協議会会長賞	中西 敏
大阪府農業会議会長賞	上辻 啓治
三島地区農業委員会連合会会長賞	岸 慶子
大阪府農業協同組合中央会会長賞	三吉 文男
全国農業協同組合連合会大阪府本部長賞	下門 文雄
大阪府信用農業協同組合連合会会長賞	中谷 悟
全国共済農業協同組合連合会大阪府本部長賞	早川 訓男
大阪エコ農産物「いばらき育ち」賞	小田 勝己
大阪府森林組合長賞	片狩 均
大阪府農業共済組合組合長理事賞	宿久 文夫
大阪府花き園芸連合会会長賞	田仲 久子

農業委員会が交付する 証明書の一部を有料に

茨木市農業委員会では令和6年1月から、サービスを利用する市民と利用していない市民の負担の公平性を考慮し、交付する証明書の一部が有料になります。

- ◆対象
 - ①農地の転用許可済み・届出済み証明
 - ②土地現況証明
- ◆手数料
 - 1通につき300円
 なお、農地法に基づく許可及び当該事務に関連する目的のための証明については、従来どおり無料です。

農業者年金に加入しませんか

積立方式(確定拠出金型)の年金で少子高齢化時代でも安心の制度です。

- ◆加入要件は、20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する方(60歳以上65歳未満の方で国民年金任意加入者)
- ◆保険料は月額2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円)から6万7千円の間で千円単位で自分で選べ、いつでも見直しできます。
- ◆保険料の全額が社会保険料控除等の税制優遇措置を受けられます。
- ◆80歳までの保証がついた終身年金です。(80歳前になくなった場合、死亡一時金を遺族に支給します。)
- ◆認定農業者等要件を備えた方には、保険料の国庫補助があります。